

夏注意！スマートフォンが故障しやすい場面

8月に入り海水浴や旅行、花火大会などまだまだ楽しいイベントが控える一方、高温多湿に急な雨など、スマートフォンにとっては危険がいっぱいの季節でもあります。

そこで今回はスマートフォンの故障を引き起こす、夏の要注意シチュエーションを紹介します。



■水辺のアウトドアシーン

よくあるのがアウトドアレジャー中の故障です。落下による故障だけではなく、テンションが上がって、スマートフォンをポケットにいれたまま海や川に入ってしまう水没、なんて凡ミスを犯す人も意外と多いです。アウトドアレジャーを楽しむ際は、事前にスマートフォンをジップロックなどのジッパー付きの袋に入れたり、防水カバーを付けたりするなどして、水や砂から保護してください。

■薄着での外出シーン

薄着になる夏場は、プライベートでもビジネスシーンでも、スマートフォンをしまう場所に気をつけましょう。ワイシャツの胸ポケットに入れている方は時々見ますが、滑り落ちやすく落下による破損・水没が多いです。落ちそうになった時にブレーキがかかるようにシリコンケースを使うなどの対策を。また生地が薄いパンツのポケットにスマートフォンを入れるのも注意が必要です。着席時にスマートフォンへのお尻の圧力が高くなり、破損しやすくなります。

■炎天下での利用シーン

長時間炎天下にスマートフォンをさらすと、CPUや記憶メモリーに負荷がかかって異常発熱してしまい、故障の原因になりますので、車のダッシュボードの放置などは危険です。また海などでのレジャーシーンではもちろんですが、街中での普段使いでも、直射日光が当たる場所での使用は控えたほうがよいでしょう。

夏場はスマートフォンの大敵、「水没」「高温」「落下」に対して、いつも以上に気をつかい夏を楽しみましょう。

災害対策してますか？

地震や津波などの自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。

しかし、日頃から防災対策をしておくことで、被害を少なくすることはできます。災害が発生したとき、被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をすることが重要です。



そのためには、災害について関心を持ち、いざというときに落ちついて行動できるよう、日頃から災害の際の正しい心構えを身につけておくことが大切です。実際に震災に直面した時のために備えを心がけておくことが、災害の軽減につながります。

いざという時にあわてず適切な行動ができるように

備蓄品チェックシート

※備蓄品は、災害復旧までの数日間を自足できるように準備しておくものです。災害後に取りに行けるよう、倉庫や車のトランクなどに分けて備蓄しておくとう便利です。

食料品	
レトルト食品(ごはん・おかゆなど)・アルファ米	
インスタントラーメン・カップみそ汁	
飲料水	1日3ℓが目安です。3日分は備えましょう。
生活用品	
給水用ポリタンク	ポリタンクには日頃から水道水をためておく と災害時、生活用水に使えて便利です。
カセットコンロ	
ティッシュペーパー・ウェットティッシュ	ウェットティッシュは入浴できない災害時には 体が拭けるなど重宝します。
ラップフィルム	食器の上に敷けば洗う必要もありません。
紙皿・紙コップ・割り箸	
簡易トイレ	
水のいらないシャンプー	
ビニール袋	雨具や敷物、簡易トイレとしても使用可能。 プライバシー保護のため透けないものを。
ロープ	救助活動の際に使えます。
工具セット	
ほうきとちりとり	ガラスや倒壊物の除去に役立ちます。
ランタン	
長靴	瓦礫などから足を保護するために。